

政務活動費出金票

出金日	令和4年5月31日
項目	調査研究費
摘要	キッズドームソライ・加茂水族館視察（山形県鶴岡市）
金額	56,865 円
支出内訳	<p>視察費</p> <p>レンタカー・宿泊・手数料 39,792円</p> <p> レンタカー @4,664</p> <p> 宿泊費 @7,500</p> <p> 手数料 @1,100</p> <p>高速代 7,224円 / (12,040円) ①</p> <p>ガソリン代 6,849円 / (11,415円) //</p> <p>加茂水族館入館料 3,000円</p> <hr/> <p>計 56,865円</p> <p>他団体と合同視察（計5名中3名）</p> <p>①5名中3名分の支払い</p>
領収書	別紙

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

氏名 寺口智之
石崎一成
浜田泰友

承認	会派会長印	経理責任者印
		

令和4年6月1日

調査研究、研修、要請・陳情活動費報告書

会派名 自民「しおかぜ」

議員氏名 浜田 泰友 

以下のとおり調査研究、研修、要請・陳情活動を行いましたので報告します。

実施日	5月30日～5月31日
調査研究、研修、 要請・陳情活動先	山形県鶴岡市
参加者名	浜田泰友、石崎一成、寺口智之
目的	キッズドームソライ、 加茂水族館の視察のため
調査研究、研修、 要請・陳情活動 内容	別紙

研究研修及び調査請願のため旅行した場合に作成し、収支報告に添付(任意様式可)

政務活動費旅費計算書

会派名 自民「しおかぜ」

金額 56,865 円

(1人あたり 18,955 円)

用務	キッズドームソライ、加茂水族館視察のため					
旅行先	山形県鶴岡市					
旅行期間	令和4年5月30日～令和4年5月31日(1泊 2日)					
種別	区 間		乗車料金	急行料金	特別車料金	合 計
鉄道賃	自	駅 至 駅	円	円		円
	自	駅 至 駅	円	円		円
	自	駅 至 駅	円	円		円
	自	駅 至 駅	円	円		円
	自	駅 至 駅	円	円		円
車 賃	区 間		借り上げ料金	燃料費	高速料金	合 計
	魚津→中条本線→魚津		13,992 円	6,849 円	7,224 円	28,065 円
宿泊料	@7,500円×3名=22,500円				1泊分	22,500 円
その他(駐 車料金等)	(内訳) 手数料3,300円、加茂水族館入館料@1000円×3名=3,000円					6,300 円
備考	他団体2名、自民しおかぜ3名の計5名の合同視察 レンタカー代23,320円中3人分13,992円、燃料費11,415円中3人分6,849円、 高速料金12,040円中3人分7,224円					
合計						56,865 円

旅行議員氏名 寺口 智之
石崎 一成
浜田 泰友

承認印	
会派会長	経理責任者
	

ENEOS

納品書(領収書)

2022年05月31日 14:40

売上
工力ード会員 様
6-302512-49995-000
現金会員

車両番号

0110-00

レギュラー ガソリン P03

数量 44.00L

単価 169円

¥7,436

消費税10%対象

¥7,436

¥676)

合計

内消費税等

釣銭 1万:2564 8千:564

カード番号:XXXXXXXXXX4828

カード外:基本P

特別P

今回計

22P

利用ポイント
利用可能ポイント
本日付与されたポイントは2~3日
目以降に反映されます。有効期限切
等の理由で、Tカードにポイントが
加算されないことがあります。
詳細はwww.tsite.jpにてご確認下
さい。

現金でのお買上げの場合は領収書にかえさせていただきます。

朝日相互燃料株式会社 横浜SS

新潟県 村上市鶴沢字下ヤチ674

TEL:0254-72-1210 SS-302512

レシートNo 3772-01

ターナルNo2444-2446

005K. 2022/05/31



apollostation

(株) シミズ

魚津

富山県魚津市

友道1008

TEL:0765-24-7000

SS:22061-22126

領収書

2022年05月31日 18:15 伝票No.4503

取引通番 6783

上 530-22126-0000-0006 * 22061

現金

0120-00 1020

レギュラーガソリン内P06

数量 23.00L

単価 @173

¥3,979

合計

(内消費税) ¥362

釣銭 1万:6021 5千:1021 4千: 21

係員: 4:00000000-0:00000000 01

処理日付: 2022/05/31 1020-1020

100取引

領収書にかえさせていただきます。

当店へのアンケート回答で
Amazonギフト券
500円分をプレゼント!
毎月1,000名様!
※お申し込みから

当店で利用後10日後まで

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領収書

料金所 魚津

お問合わせは、中日本お客さまセンター

フリーダイヤル 0120-9222-229

上記番号をご使用になれないお客さまは

TEL 052-223-0333(有料)

22年 5月31日 17時49分

車種 普通

通行料金 ¥6,020-

(現金)

-入口料金所- 中糸本線

NEXCO中日本は、首都圏の料金所で

4月からETC専用運用を順次開始します

中日本高速道路株式会社

愛知県名古屋市中区錦2-18-19

取扱番号209-00641508-00

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領収書

料金所 中糸本線

NEXCO東日本お客さまセンター

0570-024-024

または

03-5308-2424

22年 5月30日 8時55分

車種 普通

通行料金 ¥6,020-

(現金)

-入口料金所- 魚津

高速道路上で停止車両を見聞きした際は、

停止車両や人に注意しながら安全走行を!

東日本高速道路株式会社

東京都千代田区霞が関3-3-2

取扱番号207-00080601-00

加茂水族館
HAMO AQUARIUM

入場券

No 1883736

No 1883738

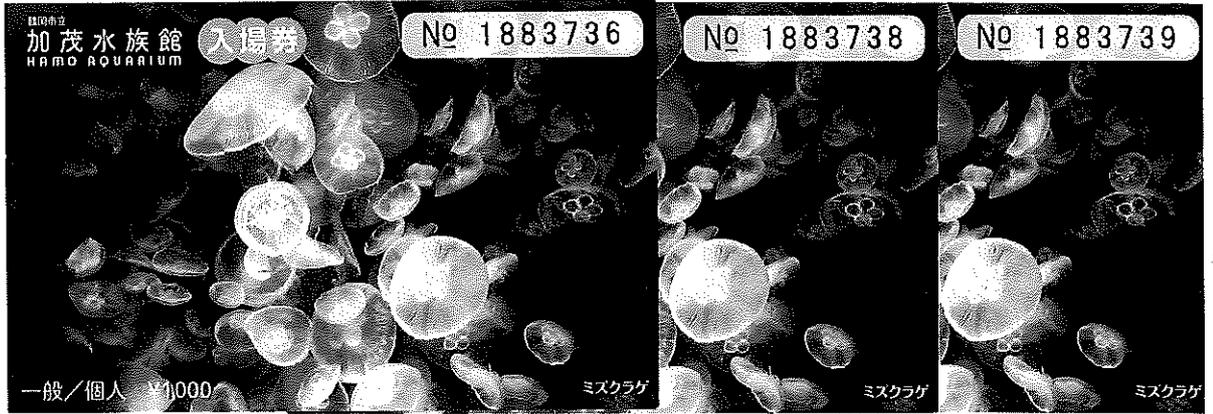
No 1883739

一般/個人 ¥1000

ミスクラゲ

ミスクラゲ

ミスクラゲ



観光庁長官登録旅行業
富山地鉄サービス
旅行部
〒930-0018 富山県富山
富山地鉄コ
TEL:076-442-8181 FAX:076-442-8180

澤崎 豊 様

請求書

この度は弊社を御利用頂きまして、誠にありがとうございます。
つきましては、下記の通りご請求申し上げますのでよろしくお願い致します。

ご請求内容		
<input type="checkbox"/> 出発日	2022年05月30日(月) 2日間 (A00005)	
<input type="checkbox"/> ツアー名	澤崎様/山形県鶴岡市 キッズドームソライ視察	
<input type="checkbox"/> 明細		
レンタカー代	(¥23,320 X 1)	¥23,320
宿泊代 東京第一ホテル鶴岡 禁煙シングル/朝食付	(¥7,500 X 5)	¥37,500
航空券代 5/31 庄内⇒羽田 ANA398/ハリュ-1C	(¥22,970 X 1)	¥22,970
旅行取扱手数料	(¥1,100 X 5)	¥5,500

お支払は弊社下記銀行口座へ
____月 ____日 までのお振込願います。

振込先: 北陸銀行 富山駅前支店 普通: 1044030
富山第一銀行 本店営業部 普通: 016794
口座名: トヤマチテツサービス(カリコウブ)
富山地鉄サービス(株) 旅行部

尚、振込手数料はお客様のご負担とさせていただきます。

ご請求額 ¥89,290

ご入金額 ¥0

今回ご請求額 ¥89,290

担当者

視察・研修報告書

日時： 令和4年5月30日（月）～5月31日（火）2日間
視察先： キッズドームソライの視察（山形県鶴岡市）
加茂水族館の視察（山形県鶴岡市）
参加者： 澤崎富山県議、富岡新川文化ホール館長、
石崎一成、寺口智之、浜田泰友（自民しおかぜ）
計5名
報告者： 浜田泰友

1. キッズドームソライの視察（山形県鶴岡市）渡邊敦館長

キッズドームソライは全天候型の児童教育施設。「夢中体験を通して、ジブンを育む」を教育理念にし、体を動かす屋内遊戯施設「アソビバ」、手を動かしアートやものづくりができるアトリエ「ツクルバ」などからなる施設である。

運営はヤマガタデザイン。児童館施設は事業収入の25～30%を占めているが、他にも学童保育、でんき、サポーター、フリースクール、ITママ育成、賃貸などの事業を行っている。

企業との連携、教育機関との連携を盛んに行っている。ツクルバでは工作材料として地元企業から端材を提供してもらっている。学童保育は希望者が増え、定員80名のところ増設を予定している。

フリースクールのソライスクールでは行きしぶり、不登校の子どもたちを受け入れている。子ども主体のコミュニティ、第三の学びの場として、大人が考えるイベント・スケジュールは止め、子ども自体に任せるようにしている。子どもにルールを変える経験をさせる。なぜルールができるのかを考える機会になる。

2. 加茂水族館の視察（山形県鶴岡市）奥泉和也館長

加茂水族館は昭和4年に鉄道開通と合わせて観光目的で設立され、現在の建物は3代目。8年間で400万人の集客があり、運営は黒字となっている。現在はコロナの影響で利用者は半減。リニューアルから10年で改装を予定している。

館内にはレストランや売店がある。以前は目的外利用の扱いだったが、鶴岡の食を知ってもらいたい、稼いで独立した経営をしたいとの思いから経営目的に入れた。

ふるさと納税の返礼品も扱っており、てっさ、はも、はもしゃぶなどが人気。そのためにショックフリーザーを購入した。

以前は観光公社の一部であったが、利益を他のホテル等の赤字補填に回され投資ができない。経営難に陥ったところ、集客のために試行錯誤した。コツメカワウソ、ラッコ、アシカ、ウーパールーパー、サル、アライグマ、皆失敗で客は増えなかった。

平成9年にサンゴからクラゲが出てきた。たまたまクラゲに取り組んだ。当時、市販品の水槽が100L50万円かかるところを自分たちで水槽を工夫し100L5万円にした。このノウハウはパリやウイーンの水族館でも使われている。平成12年には日本一のクラゲ展示を目標にした。当時11種が最高だったので、12種以上の展示を目指した。とがったことをしなければ生き残れない。

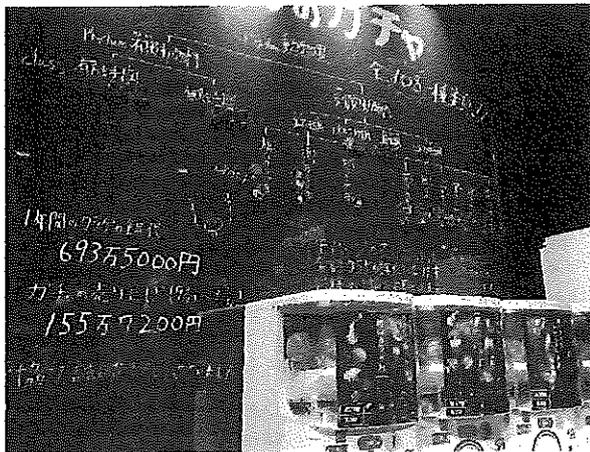
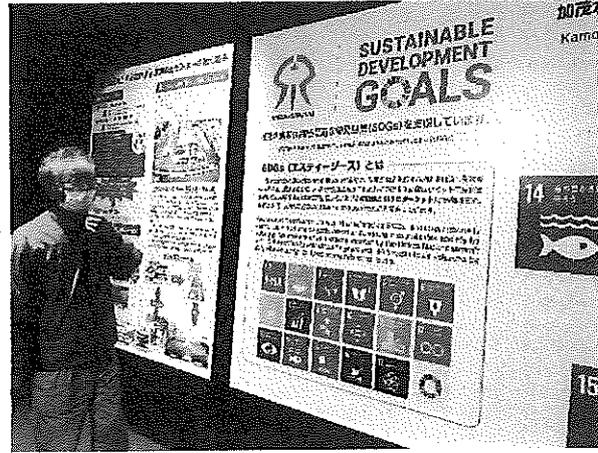
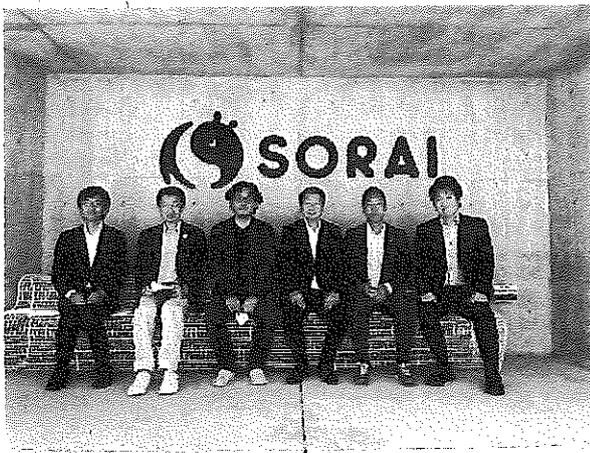
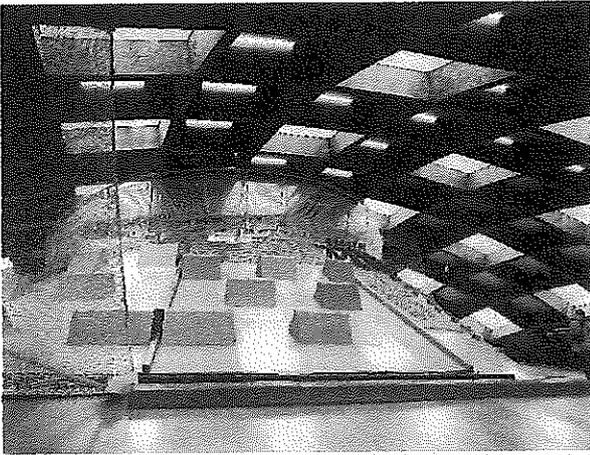
加茂水族館の目的として、地元の人が誇れるものをつくる。地元の人がお客さんを連れていきたい施設にする。

3. 考察

キッズドームソライは富山県が新川文化ホールに整備を計画している新川こども施設の参考にと考えている施設の一つである。計画中に知事が代わり、現知事が重視しているのは民間活用、民間連携である。キッズドームソライの経営は民間のヤマガタデザイン。児童館施設としての収入だけでは運営していけないとのことだった。児童館施設を核としながら全体で収益を上げていくビジネスモデルは、持続可能性という意味で行政も習わなければならないことである。立地自治体の魚津市としても、施設が整備される効果をまちづくりに最大限活かす取り組みが求められる。また、水族館やミラージュランドなどの子ども向け施設の持続可能性を考慮し、新川こども施設との相乗効果を高めていく必要がある。

加茂水族館は公立の水族館では珍しく黒字の施設である。全国からの視察も多いそうだが、館長からはここで成功していることが他で成功するかはわからない。視察の結果を地元の館の運営に押し付けるのは遠慮してほしいとのこと。そのうえで水族館経営の要諦をお聞かせいただいた。それは自分たちの強みに特化するという。他で見ることができないクラゲに特化しているからこそ集客ができるのであり、大きな水槽もトンネル水槽も見たければ他の水族館に行けばいい。また、公共だからこそ民間がやらないことを最初にできる。地元、民間を刺激していきたいとのことだった。全国的な人気のある加茂水族館でも地元の人は一回来たら10年は来ないとのこと。だからこそ逆に地元の人々の日常使いする施設ではなく、お客さんが来たら連れていく施設であろうとしている。

RESASによれば、魚津市において市外からの集客力のある施設は魚津水族館が金太郎温泉に並んで双壁となっている。魚津市が「外貨」を稼ぐことのできる貴重な施設だが、経営側視点からの運営はなされてこなかったのではないか。4代目水族館を構想するにあたり持続可能性は非常に大きなテーマとなることから、水族館経営についての検討が必要となる。



自民しおかせ視察報告

報告者：石崎一成

視察地：山形県鶴岡市「キッズドーム SORAI」、「スイデンテラス」、加茂水族館

① キッズドーム SORAI（ヤマガタデザイン株式会社）

「地域課題を解決する事業をデザインし、子供たちが生きる未来に自らも希望が持てる社会を実現する」という戦略課題のもとにヤマガタデザイン株式会社が取得地にサイエンスパークとホテル「スイデンテラス」、子供の遊びと学びの場「キッズドーム SORAI」などを一元的に開発している。SORAI の事業そのものは行政ベースで始まった事業であったが、市長の交代で補助が無くなるという大きな転換があった。幸いにも事業維持のために事業そのものの拡大をおこなっていたのが好相して現在に至ることとなった。

現在は、子供の遊び場、放課後児童クラブ、フリースクール、子育てママへの仕事とスキル提供の場、ママエンジニア育成と多角的に行っている。次世代の子どもたちを取り残すことなく育てる環境と、親の子育てと仕事の両立を支援し、企業の人材育成とスキルアップなどそれぞれに持続性と相互利点を見出して事業化しているモデルである。

【考察】

行政主導での事業のままであったらこのような発展性はなかったのではないかと感じた。民間企業が収支感覚を研ぎ澄まして事業内容を磨くこと、必要とされる課題に最短距離でアプローチしながら持続性を持たせている点が芝らしいと考える。

② 加茂水族館

初代加茂水族館は鉄道延伸の終点になる場所に観光進行目的で建設され、現在は3代目の水族館である。

入館規制で4,000人/日となっているが、ピーク時の75%程度の来館者まで持ち直してきている。

クラゲでブレイクすることとなったが、それも毎年1回の特別展示を始めてから5年間は全く来館者増に繋がらなかった。展示用に繁殖させていた個体の水槽からサカサクラゲが見つかり、これを展示したところ流行り始めた。当時の飼育用水槽は100ℓで60万円程と高額で買えなかった。また、展示個体も海から採取していたのが現状であった。

そこで、自家製の水槽の改良に取り組んだところ、長期飼育や繁殖にも成功することとなり、展示方法などにも幅を持たせることができ、結果的に来館

者増に繋がっていった。

水槽に関する技術はオープンライセンスとしたことで、他の水族館と交流をするきっかけとなり、遠くはフランスの水族館も情報ネットワークの中にある。

食堂事業を展開するも当初は行政的に目的外収益事業と見なされていた。令和3年度にようやく水族館施設と一体的に管理できるようになった。

現在、自己資金で積み上げた基金で改修事業に着手する準備を進めている。

【考察】

行政保有の博物館事業でありながら指定管理者としてしっかりと利益を出して運営していること、改修費なども自己調達できている点は魚津水族館も見習ってほしい点である。館内の導線や展示方法、食に関するまでの情報のボリュームや深度が非常にうまく設計されていると感じた。また、コストダウンを行いながら、自らの武器を他の水族館と共有することで新たなネットワークと情報を入手する道が開拓されたことも持続的な経験の蓄積によるものであり、唯一無二の部分である。

金で買える規模やアミューズメント性の設計ではなく、継時努力により蓄積した情報と技術をオンリーワンの素材として勝負しているので、真似のできない存在となっていると感じた。

自民しおかせ 鶴岡視察 報告書

実施日時 令和4年5月30日(月)～31日(火)

視察先 山形県鶴岡市 1, キッズドームソライについて
2, 加茂水族館について

参加者 澤崎 豊 富山県会議員 富岡 俊二 新川文化ホール館長
浜田 泰友 石崎 一成 寺口 智之

報告者 寺口 智之

1. キッズドームソライについて

対応者 渡邊 敦 館長

<内容・概要>

渡邊館長により、配布資料とパワーポイントを用いての説明をいただいた。

若年層の人口減少が続いていた中で、次の時代を担う人材と魅力ある産業を育てるための基盤づくりとして、慶応義塾大学の協力の下、鶴岡市に慶応義塾大学先端生命科学研究所(2001年)と東北公益文化大学大学院(2005年)が設置された。

先端研を有する21.5haを庄内地方拠点都市地域基本計画の拠点地区としてサイエンスパークとして位置づけ、企業、試験研究機関、業務機能等を誘致して、世界レベルの科学技術開発拠点を目指してきた。バイオベンチャー企業の事業拡大により、サイエンスパークは徐々に拡大し、関連企業や学術機関も進出。2017年には、国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点が開発するなどし、現状で約550人が働く研究開発・産業エリアに成長してきた。

そのような中で、民間主導による開発として、街づくり会社であるヤマガタデザイン(株)が整備したのが宿泊滞在施設としての「ショウナイホテル スイデンテラス」(2018.9～)と、子育て支援施設として「キッズドームソライ」(2018.11～)である。

キッズドームソライは、全天候型の子育て支援施設として、地上1階部分にネット遊具や傾斜のある木製床などで構成される屋内遊戯施設「アソビバ」、地下1階部分にはモノづくりスペース「アソビバ」にて構成される。

総建築費用は約12億円、コロナ以前は年間でおよそ8.5万人の来場者だったとのこと。

施設のコンセプトは、「夢中体験を通して、ジブンを育む」であり、体験を通じて自らの価値基準や自らの幸せ、存在意義を定義できることを目指すとしている。特色的と感じるのは、年齢の区別をなるべくせず、(0～2歳児の場所が少しあるがそれ以外はオールMIX)共存しながら自ら学び身に着けることを大切にしているということ。子供の天性・個性を尊重し、寄り添う、手助けするために大人が手伝いをしているという感じであったことである。

運営スタッフも海外出身の方や、アート系やサイエンス系など、多様なバックグラウンドを持つ方々で、子供たちが多様な視野を持ちやすい環境づくりを目指している。

また令和2年4月からは放課後児童クラブを運営。登録児童は令和3年10月現在で、81名で、今後は100名程度まで拡大する予定。こちらも子供主体の学びの場という考えのもと、ソライの環境を最大限活用して子供の健全な育成を目指す場としている。

<考察>

キッズドームソライの利用料金は、比較的高い。1歳児で500円、2歳児で700円、3歳以上小学6年生までは1,500円で、さらに保護者料金500円が加算されるので、例えば2歳児と4歳児の子を連れて利用する際には、一度で2,700円の支払いとなる。感覚としては、利用だけでこの金額というのはとても高いのではと思うが、コロナ以前には年間で8.5万人、平均すると1日当たり233人の利用があるというのは、それほど魅力がある施設であるということであろう。

渡邊館長より、最初に施設の基本方針を説明いただいたわけだが、施設のコンセプトとして、これからの時代を生きることにもたちに必要なチカラを、「遊び」を通して育てていくことを目的として、「夢中体験を通して『ジブン』を育てる」という言葉で表現されている。

これは、同じ正解を求めて同じ考え方を求めるのではなく、子供たちが自分で創造し、たとえバラバラの結果にたどり着いても、それが正しい考え方である、とする考え方である。館長のたとえ話の中で、算数が必要であるということをお教えるのではなく、料理が好きな子が、料理を作るための計算として、算数が必要ということをお自分で実感することが大切だという話が出て、この考え方をもって子供に接することができると、子供の理想的な成長に結びつくのだと感じた。

またソライは、運営するヤマガタデザインの「教育部門」の中の、7つの事業の中の一つであり、それ単体で持続していくことにこだわるわけではなく、7つの事業の総合で黒字化していければいいという考えで成り立っている。この仕組みを作り出せていることもソライが事業設計を進めるうえで重要なことである。資金繰りに苦労して所期の目的を維持できないケースが往々にある中で、ほかの部門の資金も活用して全体で運営することができるとなれば、こだわりを貫くための燃料となる。

2018年11月の開業ということで、コロナ禍もあり、この後の展開でどのように拡大していくのか、注視していきたいと感じた。

2. 加茂水族館について

対応者 奥泉 和也館長

<内容・概要>

鶴岡市立加茂水族館は、山形県唯一かつ市立の水族館である。開館は1930年（昭和5年）で、90年余りの歴史を持ち現在は3代目。のべ床面積は魚津水族館とほぼ同じ4,000㎡、入館料は同じく¥1,000-。年間パスポートは¥2,500-ということで、魚津水族館と同じ規模でありながら、年間50万人以上集客がある。（ただし現在はコロナ禍において入場は半数程度に抑え、年間25万人ほどの入場としている。また年末年始や連休の際には入場規制を敷いている。）

2代目水族館の昭和40年代には、ホテル事業などと経営を共にし、年間20万人越えの集客があったが、徐々に減少しバブル崩壊後の1997年（平成9年）には年間9万人程度にま

で落ち込んだ。

90年の歴史の中で組合、県、市、第3セクター、民間、そして市と経営母体が変わる中で、1997年、展示したサンゴの水槽内から偶然クラゲが出てきたのを発端に、クラゲに特化することにかじを切る。クラゲ専用の特殊な形状の水槽を2000年に開発。今では生体別に12種類の形状の水槽を独自に開発したとのこと。来場者は徐々に増加し、クラゲの展示種類数世界一の水族館として復活をとげる。今では常時60種類以上のクラゲを飼育・展示し、その生態や特徴について観察ができる。また、海洋生物学研究者や世界中の水族館からも注目を集め、様々な交流を生みだしている。

<考察>

加茂水族館では、まずは奥泉館長のパワフルな人柄に圧倒される。世界一の水族館を作り上げた自負というものだろうか。多くの失敗を重ねながらも、試行錯誤の中で現在の姿にたどり着いていることや、たまたまクラゲがヒットして幸運だったという話し、独自の水槽の開発などこれまで苦労された話から、各種イベントや催し物での集客の工夫など現在の多くの取組みの話しまでを聞かせていただいた。

いまも複数の事業が同時進行しているとのこと。地元水産高校生と協力して「水族館学概論」という授業を年に100時間実施し、また水族館内での飲食レストランの強化、下水を浄化した水で育てるアユの養殖にかかるアドバイスなど、様々な事業を通し、収入を作っている。

このような活動を通して、地元の来場者を増やしているのかと思えばそうではなく、なんと来場者の8割は県外から来るそうである。考えてみれば我々もなかなか何度も魚津水族館に足を運んだりはしないように、市民はあまりに身近であると直接足を運んだりはしない。同時にそのことをしっかりとらえ、外からの来場者に興味を持ってもらう工夫をするために、山形の歴史や風土を織り交ぜた展示スタイルにしているということであった。

市からの補助も年間60万円（魚津市から魚津水族館へ事務委託費は年間約1.5億円）しかもらってないうえで、自己資金を貯蓄し、約16億円の予算で研究のための施設を作る計画をしているそうだ。（まもなく貯金が予定額に達するとのこと）

館長は水族館をどういう形で存続していくかについては明確なビジョンをお持ちで、様々な工夫をして現在の状況を作り、またこれからもどんどん新しいことにチャレンジしていくとのことであった。

こと生き物の飼育に関しては、議員などしろとうが外野から口出しせずに、館の考え方を尊重して、お互いの立場で何ができるか考えて行動してほしいとのことで、この考えはなるほどと考えさせられた。

水族館の運営は、管理料や修繕費などが膨大であり、黒字運営の水族館は本当に一握りしかない。市立の水族館においては市財政への負担が大きいという課題と、魚津市になくてはならない観光資源。この両立をどのように考えていくのか、市として維持できなくなることや、下手に県立化して結果的に他市に建設されるような事態を避けるためにも、将来、水族館の建て替えに向けた議論においては多くの市民が関わり、そのあり方を考えていくことが必要であると感じた。

以上

政務活動費出金票

出金日	令和4年12月1日		
項目	調査研究費		
摘要	ZEB実証棟視察、北方領土行進（神奈川県、東京都）		
金額	78,382 円		
支出内訳	研修費 交通費 宿泊費 土産・送料	49,760円 25,282円 3,340円	計 78,382円
領収書	別紙		

本紙に収まらないときは、適宜別紙を作成のこと

氏名 石崎一成
 浜田泰友

承認	会派会長印	経理責任者印
		

令和4年12月1日

調査研究、研修、要請・陳情活動費報告書

会派名 自民「しおかぜ」

議員氏名 浜田 泰友 

以下のとおり調査研究、研修、要請・陳情活動を行いましたので報告します。

実施日	11月30日～12月1日
調査研究、研修、 要請・陳情活動先	神奈川県横浜市 東京都千代田区
参加者名	石崎一成、浜田泰友
目的	大成建設技術センターZEB実証棟の視察、 北方領土返還要求アピール行進のため
調査研究、研修、 要請・陳情活動 内容	別紙

研究研修及び調査請願のため旅行した場合に作成し、収支報告に添付(任意様式可)

政務活動費旅費計算書

会派名 自民「しおかぜ」

金額 78,382 円

(1人あたり 39,191 円)

用務	大成建設技術センターZEB実証棟の視察、北方領土返還要求アピール行進のため					
旅行先	神奈川県横浜市、東京都千代田区					
旅行期間	令和4年11月30日～令和4年12月1日(1泊 2日)					
種別	区 間		乗車料金	急行料金	特別車料金	合 計
鉄道賃	自 <small>黒部宇奈月温泉</small> 駅	至 東戸塚 駅	13,200 円	11,660 円		24,860 円
	自 東戸塚 駅	至 新橋 駅	1,140 円			1,140 円
	自 東京 駅	至 <small>黒部宇奈月温泉</small> 駅	12,100 円	11,660 円		23,760 円
	自 駅	至 駅				
	自 駅	至 駅				
車 賃	区 間		借り上げ料金	燃料費	高速料金	合 計
			円	円	円	円
宿泊料	ホテル代2名分 1泊分					25,282 円
その他(駐車料金等)	(内訳) 大成建設へのお土産・送料込(技術センター、富山営業所)3,340円					3,340 円
備考						
合計						78,382 円

旅行議員氏名 石崎 一成
浜田 泰友

承認印	
会派会長	経理責任者
	

魚津市議会 自民党議員会・自民しおかせ視察行程表（案）

令和4年 11月30日(水)～12月1日(木)

期日(曜)	内 容	宿 泊 先
① 11/30 (水)	<p>8:01 黒部宇奈月温泉駅発 → 10:36 東京駅着</p> <p>→ 横須賀線 → 11:47 昼食 東戸塚駅</p> <p>13:30 → 大成建設(株) → 16:15 東戸塚駅</p> <p>技術センター → 17:00 新橋駅 → 宿泊先着</p> <p>ZEB実証棟の視察 横須賀線</p> <p>18:30 黒部・魚津・入善・根室 市町議会交流会 新橋亭</p> <p>13:05 東戸塚駅 → 東口バス乗場 → バス</p>	
② 12/1 (木)	<p>9:00 ホテル発 → 10:00 出発式(集合) → 12:00 解散</p> <p>日比谷公園 野外音楽堂</p> <p>→ 帰路 → 黒部宇奈月温泉駅着</p>	

【参加者】 関口雅治、金川敏子、林久嗣（自民党議員会）
 水田万輝子（自由民主党議員会「響」）
 浜田泰友、石崎一成（自民しおかせ）
 四十万隆一（魚津市副市長）

領 収 書

No. 087360 精-02 22/11/30 16:24

宿泊棟 本館
部屋番号 803

ご滞在期間 2022/11/30~2022/12/01

自民しおかせ 様

ご請求額 12,641円

上記金額をクレジットにて領収致しました

ご利用明細

室料 12,641円
合計 12,641円

※上記金額には消費税が含まれております。

相鉄フレッサイン 新橋日比谷口

[TEL] 03-5157-2031
[FAX] 03-5157-2035

発行元：株式会社相鉄ホテルマネジメント

印紙税申告納
付につき横浜中
税務署承認済

クレジットカードご利用明細

カード会社：VISA/マスタ
ご利用日：2022/11/30
会員番号：498001XXXXXX1722
有効期限：XX/XX
お支払方法：一括払
承認番号：0003343
伝票番号：5015

AID:A0000000031010
VSDC

カード会員名：HAMADA/YASUTOMO

ご利用金額： 12,641円

相鉄フレッサイン 新橋日比谷口

[TEL] 03-5157-2031
[FAX] 03-5157-2035

領 収 書 自民しおかせ 様

領収年月日 2022.11.15

金額 ¥49,760-
(クレジット扱い)

購入内容 JR乗車券類発行

原券番号 -00001

あいの風とやま鉄道株式会社

魚津駅発行 75-16927

印紙税申告納
付につき富山
税務署承認済

領収証

No. 4 年 11 月 29 日

様

1670x3 = 5010

1670x2 = 3340

8350

自民党

金額

但 飲食料品等(軽減税率対象) 上記正に領収いたしました

内 消費税額等

8%(税込・税抜)金額

10%(税込・税抜)金額

現金・カード・()

〒937-0042 魚津市六郎丸139
川西清則りんど園
TEL・FAX 0765-22-3281

登録番号

〒HISAGO#778

入場整理券

北方領土返還要求アピール行進

日時 令和4年12月1日(木)
集合 10時00分
出発式 10時30分(出発11時30分)
場所 日比谷公園野外音楽堂
 (東京都千代田区日比谷公園 1-5)

コース:日比谷公園野外音楽堂(11:30)→日比谷公園西幸門→銀座外堀通り→
 数寄屋橋→鍛冶橋交差点解散(12:10)計1.6km
 問い合わせ先
 〒087-8711 根室市常盤町2丁目27番地
 根室市北方領土対策部北方領土対策課
 北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会事務局
 電話 (0153)23-6111・FAX (0153)24-8692
 ※マスクをご着用のうえ、ご入場をお願いします。
 ※37.5℃以上の発熱がある場合は、入場をご遠慮ください。



No. 147629

領収書

日付 DATE 2022年11月30日

RECEIPT

自民しおかせ 石崎 一茂 様

金額		百万	¥	1	2	6	4	1	円
----	--	----	---	---	---	---	---	---	---



但し IN PAYMENT OF 11月30日からの泊宿泊代として

上記の通り正に領収致しました

THE ABOVE SUM HAS BEEN DULY RECEIVED WITH THANKS

- 現金 By Cash
- クレジットカード By CR. C
- 振込 On Bank
- その他 Other ()

株式会社 相鉄ホテルズ & リゾート
 相鉄フレッサイン 新橋日比谷口
 〒105-0004 東京都港区新橋1-14-3
 ☎ 03-5157-2031

担当者 BY

令和4年12月1日

視察・研修報告書

日時： 令和4年11月30日（水）～12月1日（木）2日間
視察先： 大成建設技術センターZEB 実証棟の視察（神奈川県横浜市）
北方領土返還要求アピール行進の参加（東京都千代田区）
参加者： 関口雅治、金川敏子、林久嗣（自民党議員会）
水田万輝子（自由民主党議員会「響」）
石崎一成、浜田泰友（自民しおかぜ）
計6名
報告者： 浜田泰友

1. 大成建設技術センターZEB 実証棟の視察（神奈川県横浜市）

技術センターには13のラボがあり、2014年ZEB 実証棟が2020年人と空間のラボにリニューアルされ、省エネ・創エネ、知的生産性向上、都市型ZEBの実現などを研究している。創エネでは壁面太陽光発電パネルが設置され、窓もブラインドタイプの太陽光発電が組み込まれている。採光や換気にも自然由来のものを取り入れているが、人感センサーにより照明や空調は人が仕事するスペースのみ稼働するようになっている。

ZEB レベルについて。実証棟においては居住性を犠牲にしてネットZEBを実現しているが、小さい建物でないとネットは無理。庁舎としてはレディかニアリーを目指す方がよいとのこと。

2. 北方領土返還要求アピール行進の参加（東京都千代田区）

出発式の後、日比谷公園から鍛冶橋交差点まで行進した。

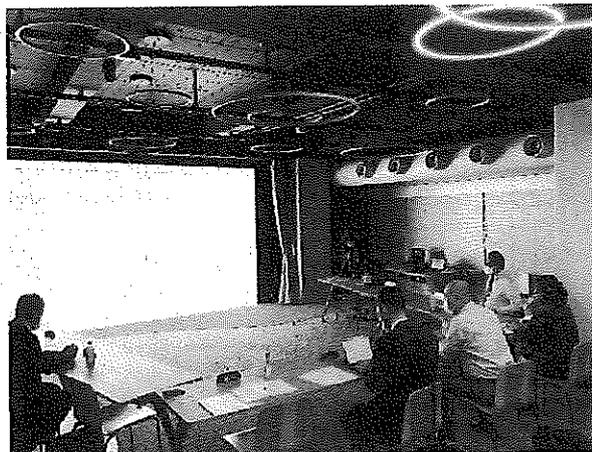
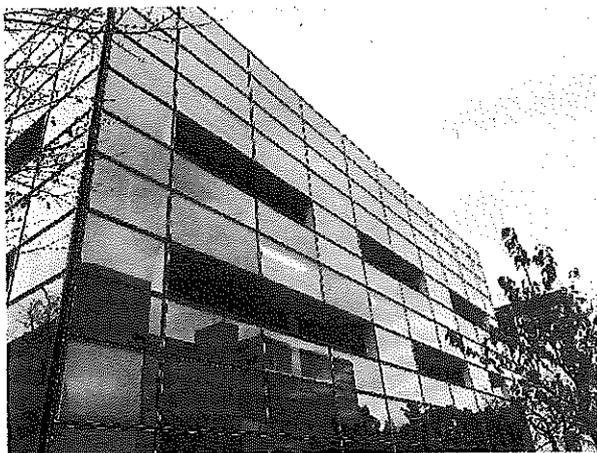
3. 考察

魚津市の庁舎建替を控えて、ZEB 実証棟を視察した。

他自治体の庁舎においては特徴を出そうとして奇抜なデザインにしている建屋もあるが、新しい技術、知見を取り入れた機能的な施設が望ましい。

現在は屋根などにパネルをわざわざ設置している太陽光発電は今後壁面に置き換わっていくと考えられる。将来的なランニングコスト、環境負荷をより低減できるような庁舎を模索すべきであり、そのための情報収集、研究を惜しむべきではない。庁舎の設計までもう少し時間があるため、より良い庁舎となるよう努力を尽くす必要がある。

北方領土問題については、富山県は北方領土からの引揚者が北海道に次いで多い。しかもそのほとんどが黒部、入善、魚津と県東部の方であり、ふるさとの問題と認識し、取り組まなくてはならない。新型コロナウイルスの影響でしばらく開催が見送られていたが、数年ぶりの開催となった。その間、ロシアによるウクライナ侵攻があり、北方領土交渉は暗礁に乗り上げている。しかしながら、諦めることなく返還要求を引き続き展開する必要があるが、北方領土に関する運動はこのアピール行進も含め、あまり知られていない。地元での知名度を上げていく取組みが求められる。



「Zero Energy Building [ZEB]」研究現場の視察

日時：2022年11月30日13:20～

場所：大成建設技術センター

報告提出者：石崎一成

【技術センターとは】

大成建設はまもなく150周年。技術センターは1958年の技術研究部が前身。2014年に建設した「人と空間のラボ」がZEB実証棟として活用されている。

【ZEBとは？】

ZEB：省エネ50%以上かつ創エネ50%以上で合計100%以上。

nearly ZEB：省エネ50%以上かつ1次消費の75%以上100%未満の削減

ZEB ready：省エネ50%以上

ZEB oriented：

【BIMとは？】

平面の設計図を3Dにして場面上で表現する技術。これにVRを取り入れることで、日照や詳細な位置情報と空間映像を表示することができる。また、骨格、配管、送配電なども正確に設計されているかの検証が可能となる。

【ZEB棟の見学】

屋上太陽光パネルや壁面太陽光パネル、スリット型ガラス太陽光パネルで発電をおこなっている。また、採光窓を設けることで電灯の利用減を図り、省エネを目指している。

【ZEBレベルと公共施設の考え方】

現状ではフルZEBの公共施設は無いと言っても良い。コスト面や立地条件などにもよるが、nearlyZEBまたはZEBreadyで検討・設計されるのが大多数である。

空間利用などの観点で吹き抜けなどを設計に盛り込むことが多いが、効率性で腑になることがあってもZEBを達成できないわけではない。それぞれの設計に合わせた空調管理や省エネ対策を逐次行っていけると考えている。

【考察】

建築分野における地球規模での環境の保護・保全や人の暮らしを考えると、材料・素材の安全性や毒性の有無、それらを組み合わせて作る骨材や内外装の耐久性に始まり、建設・運用及び維持管理・解体等々それぞれの場面ごとの環境負荷の見積もりや計測といった、細分化されたジャンルの集積値を総合的に評価される時代となった。

中でも、運用・維持管理は建築物の寿命の中で最もウエイトを占める部分であり、地球温暖化や化石資源の枯渇といった世界規模の課題からも強い期待のある分野である。正に、ZEB、ゼロ・エネルギー・ビルディングの考え方は現代の課題に向けた中心的な取り組みの一つである。

今回、見学をさせていただいた大成建設技術センターでは、強度や断熱性と保温性はもちろん、再生エネルギーを採取する太陽パネルの設置面積の拡大や効率性向上を目指す研究内容をご紹介いただいた。また、全てをエネルギーとして変換して利用するのではなく、窓による採光技術を深化させたり、僅かな空気の通り道を確保することで快適性を向上させるなど従前からあった技術に進化を求めた研究もされていた。

持続性があり、省エネ&高効率、かつ使い勝手の良い便利な施設といった要求は今後も止む事はないと考えられるが、公共施設の整備や維持管理にはそれぞれのタイミングがある。その時点で最高の選択肢が用意できるように我々も随時情報収集や勉強する必要があることを改めて感じた。